



# 片品村と自主防災会が「防災まちづくり大賞」を受賞しました！ ～命を守る行動「片品村地区防災計画(全域32地区)個別計画策定」～

片品村 総務課

## はじめに

片品村では尾瀬かたしなエリアゼロカーボンパーク登録を機に宣言した「片品村5つのゼロ宣言2050」の柱である自然災害による死者ゼロを目指していることから、地区特有の災害に特化した「片品村地区防災計画を全域32地区で個別に策定しました。

この取り組みにより、令和6年2月27日(火)に総務省消防庁より「防災まちづくり大賞」日本防火・防災協会長賞を受賞しました。

片品村地区防災計画(抜粋)▶



「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設されました。地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

## 背景

当村は山と川に挟まれた場所に多くの地区(集落)が形成されており、地区ごとに異なる自然災害リスクが考えられるため一律の防災計画で対応することに限界を感じていました。さらに被災状況によっては、公助に時間を有することも考えられるため、地区住民が協力して助け合い、住民自ら考え被災リスクを減らす行動を選択することにより、公的支援をピンポイントで行うことを目指し計画策定を進めました。

## 取り組みの内容

地域住民を中心に過去に起きた災害とハザード情報を確認し、災害リスクや避難経路(場所)などマップ上で確認しました。地区によっては独自に取り決めた避難場所(民間施設等)も取り入れています。また、防災情報の取得方法等を平時から確認し、災害が差し迫る中、各家庭(個人)がどのような行動をとることが命を守る最善の方法となるのかを簡単なフローチャートで確認できるよう作成しました。この計画は「命を守る行動」に重点をおいた計画であり、被災後は村の特色を生かし宿泊施設等と連携を図る計画としています。



地区避難訓練



防災講習会の様子



片品小防災教室

## 地区防災計画の活用

地域住民の防災行動を促す上で若年層へのアプローチは重要な役割を持っているため、小学校での防災教育にも活用しています。今年度は子ども目線での通学路の危険箇所情報も取り入れます。各地区では年1回計画の見直しを行い、全戸周知を図ることにより住民一人ひとりの避難計画として活用できるよう取り組みを進めています。

片品村では住民と村を訪れる人々の「自然災害による死者ゼロ」を目指しこの取り組みを進めていきます。

